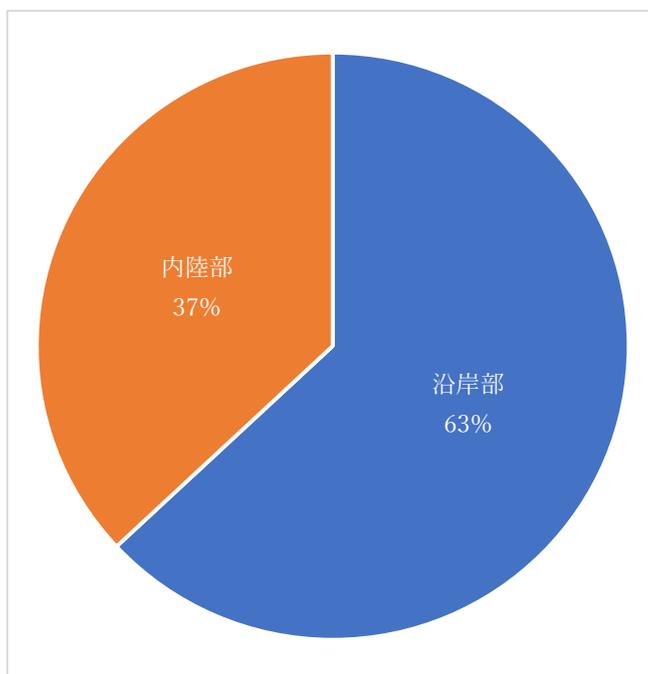


南海トラフ地震臨時情報に係るアンケート結果について

問 1 お住まいの市町村を教えてください。

「沿岸部 10 市町が 63%」、「内陸部 14 市町村が 37%」の回答。

○地域別回答（N=2,963）



【沿岸部：10市町】

徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市、牟岐町、美波町、海陽町、松茂町、北島町、藍住町

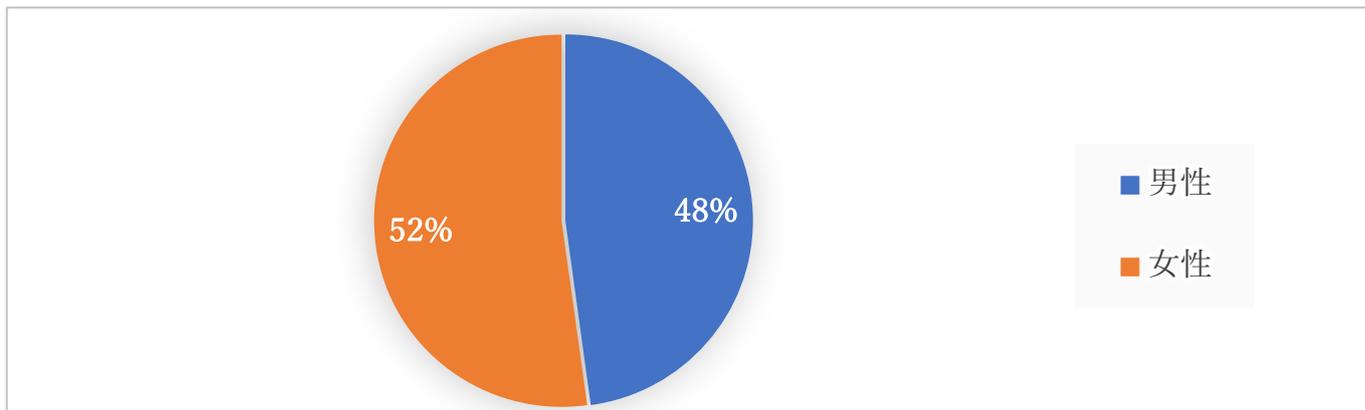
【内陸部：14市町村】

吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、勝浦町、上勝町、佐那河内村、石井町、神山町、那賀町、板野町、上板町、つるぎ町、東みよし町

※以下同じ

問2 性別を教えてください。(N=2,963)

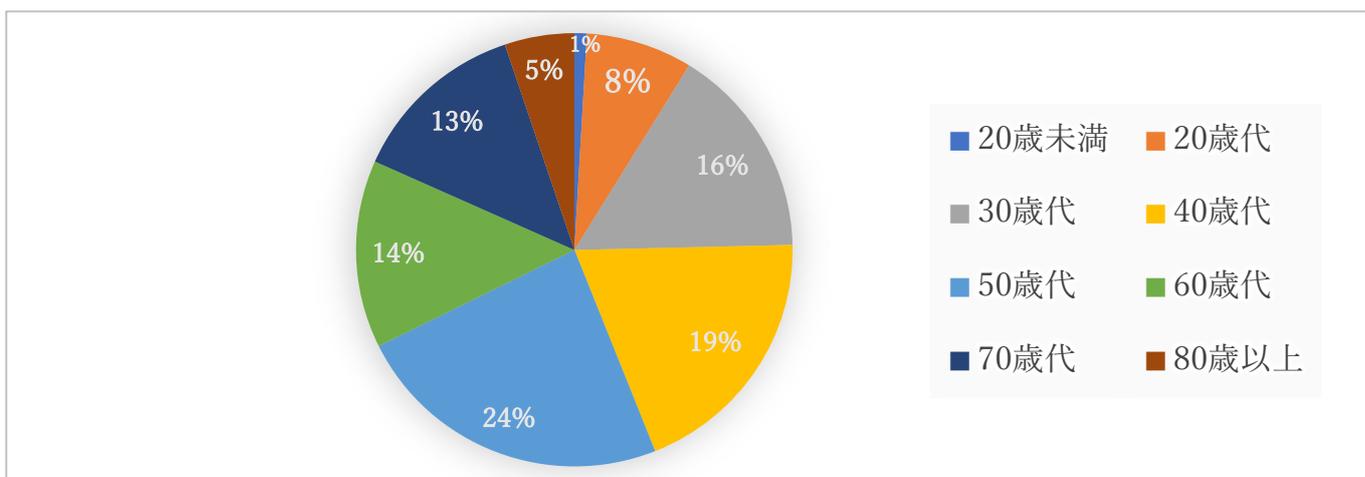
「男性：48%」、「女性：52%」となっている。



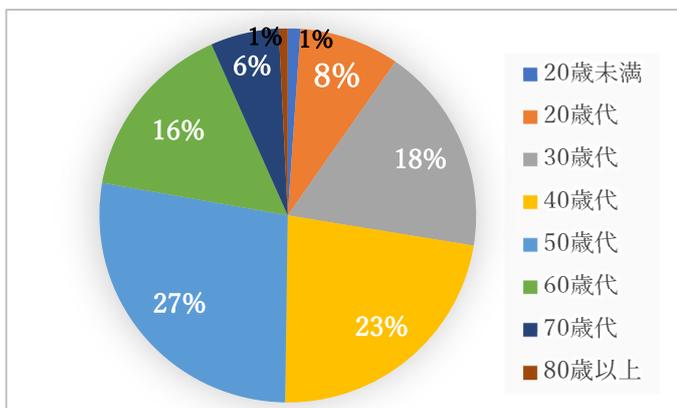
問3 年齢を教えてください。

「50歳代：24%」が最も多く、次いで「40歳代：19%」、「30歳代：16%」と続く。

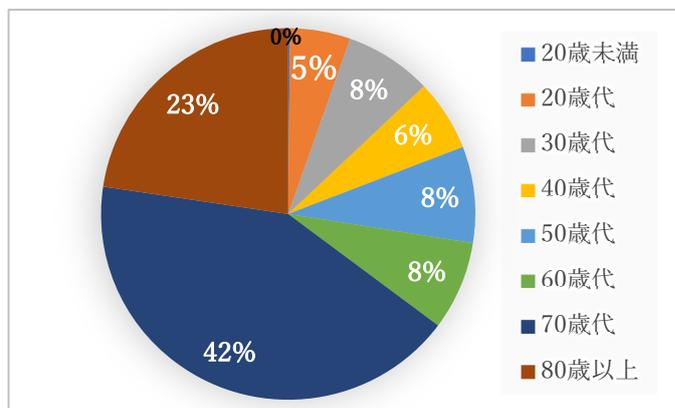
○全回答集計 (N=2,963)



○Web 回答 (N=2,367)



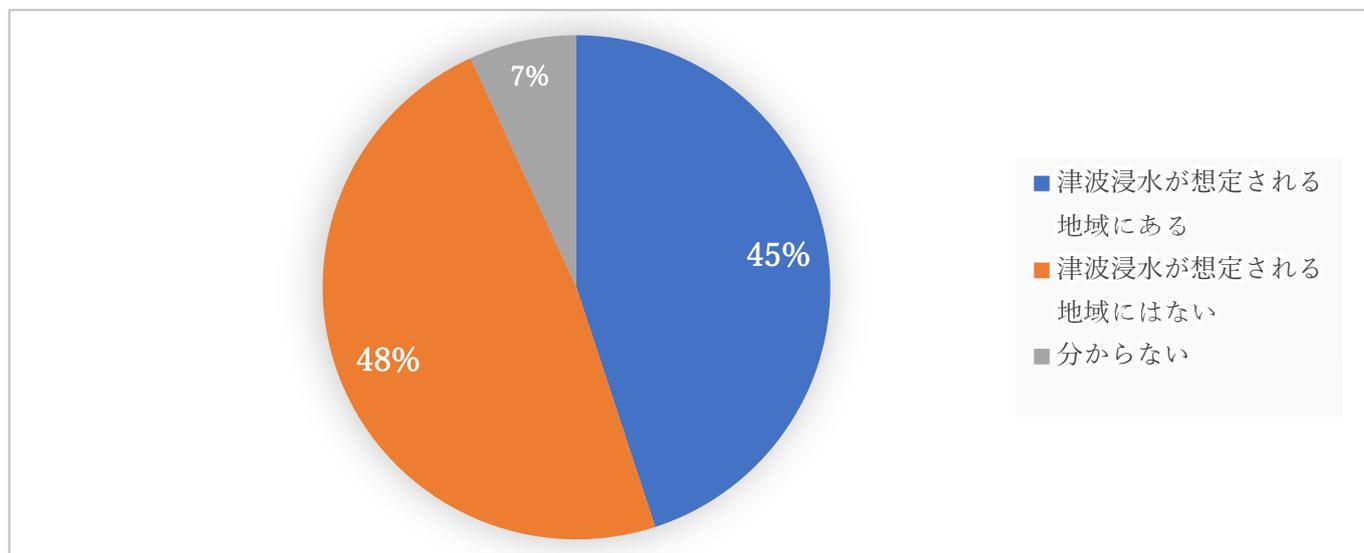
○紙回答 (N=596)



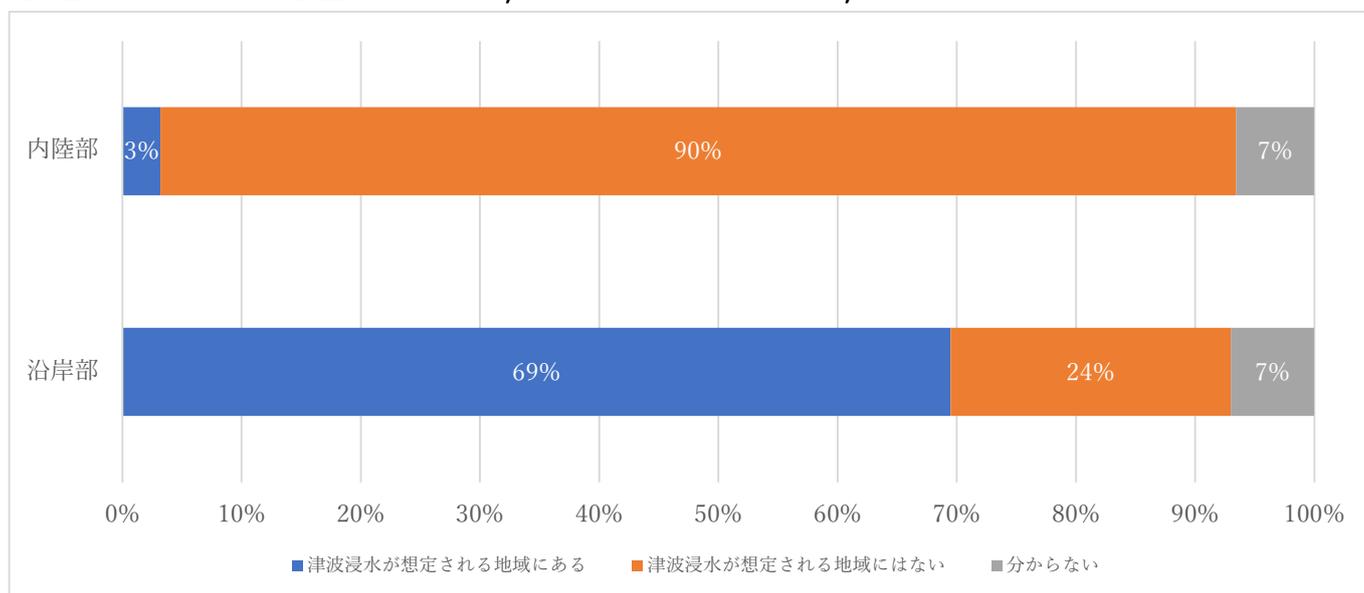
問4 現在のお住まいは、津波浸水が想定される地域にありますか。

「分からない」との回答が7%を占める結果となった。
また、津波浸水想定区域がない内陸部において、3%の方が浸水すると誤認している。

○全回答集計 (N=2,963)

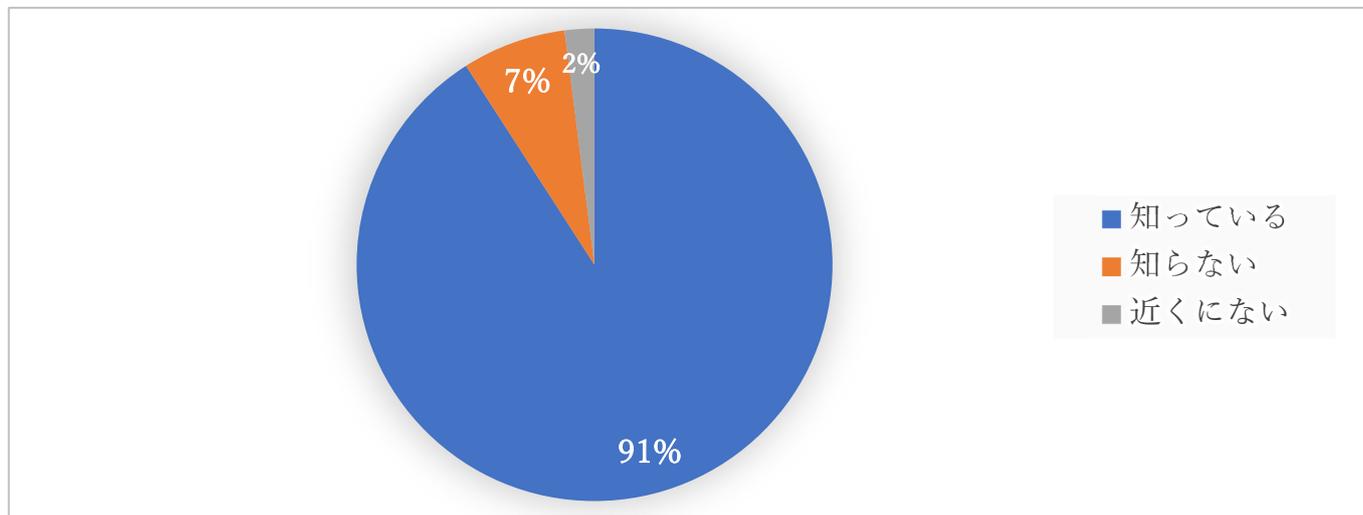


○地域別集計 (内陸部 : N=1,095、沿岸部 : N=1,868)



問 5 問 4 で「津波浸水が想定される地域にある」と回答した方にお聞きします。
お住まいの近くの津波避難場所を知っていますか。(N=1,333)

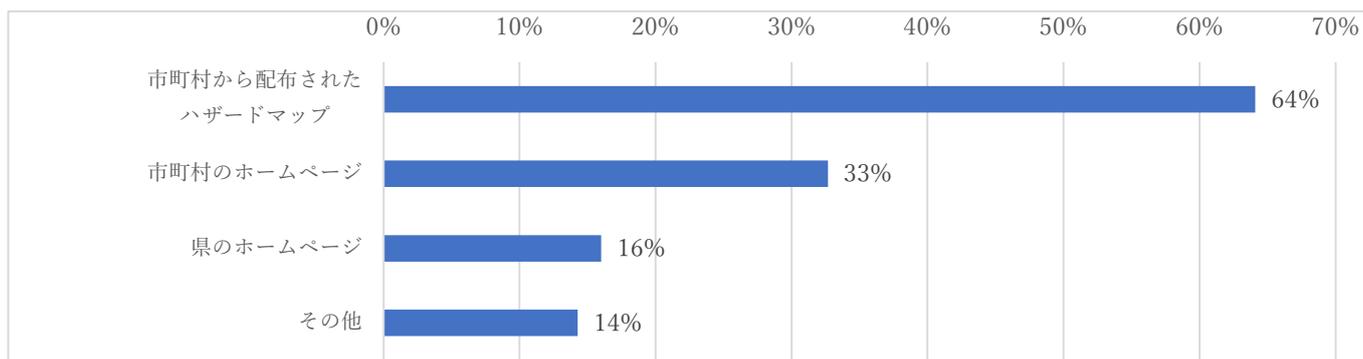
「知っている」との回答が 91%を占める結果となっている。
一方、「知らない」との回答が 7%となっている。



問 6 問 5 で「知っている」と回答した方にお聞きします。

その津波避難場所は、どのようにして知りましたか。※複数回答可 (N=1,212)

「市町村から配布されたハザードマップ」が最も回答数が多く、次いで「市町村のホームページ」、「県のホームページ」と続く。



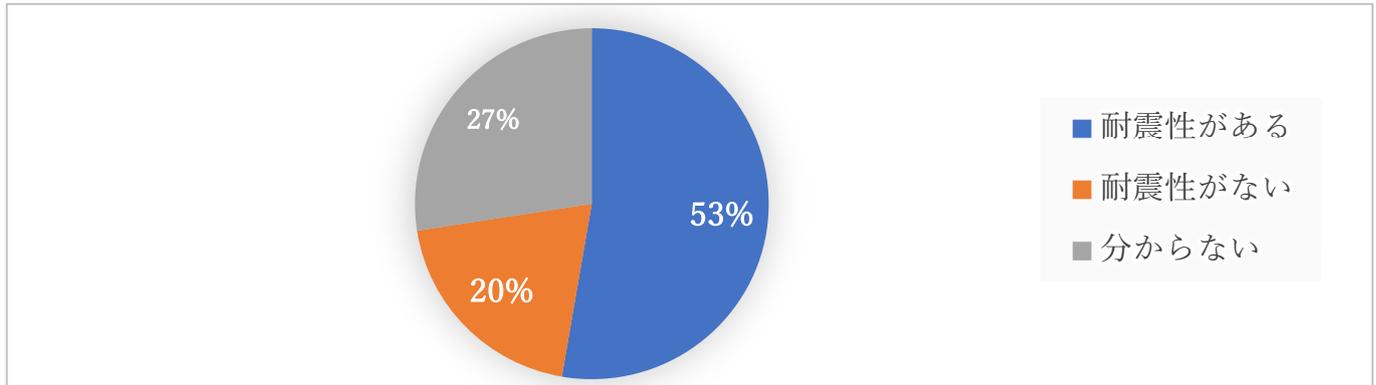
※複数回答のため、計 100%にはならない。

【「その他」の回答】

「知人・家族等から聞いた」、「訓練で知った」、「防災アプリ (Yahoo) 等で知った」といった回答が多く見受けられた。

問 7 お住まい建物に耐震性はありますか。(N=2,963)

「耐震性がある：53%」が最も多く、「分からない：27%」と続く。



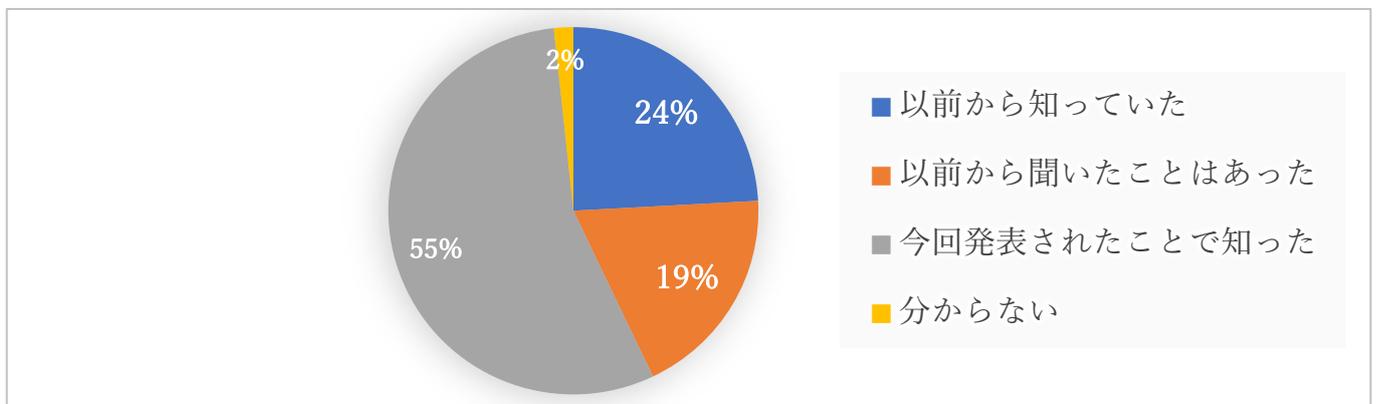
問 8 「南海トラフ地震臨時情報」を知っていましたか。

「今回発表されたことで知った：55%」が最も多く、「以前から知っていた」、「以前から聞いたことはあった」は合計43%を占める結果となっている。

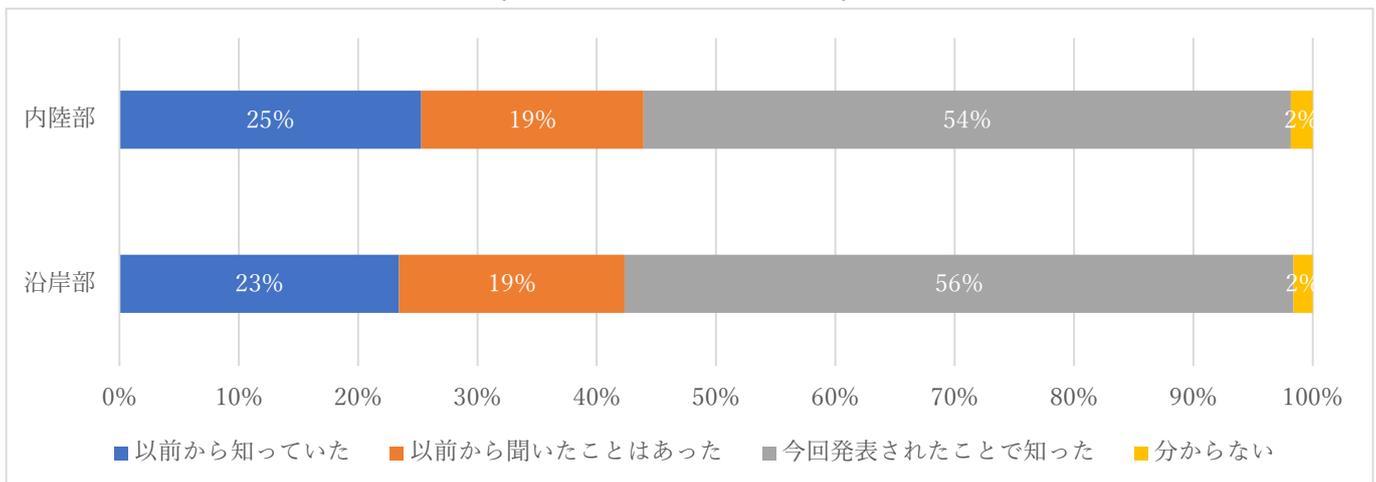
今回の臨時情報の発表によって、98%の方が認知したことが分かる。

また、地域別で回答割合に大きな差は見られない。

○全回答集計 (N=2,963)

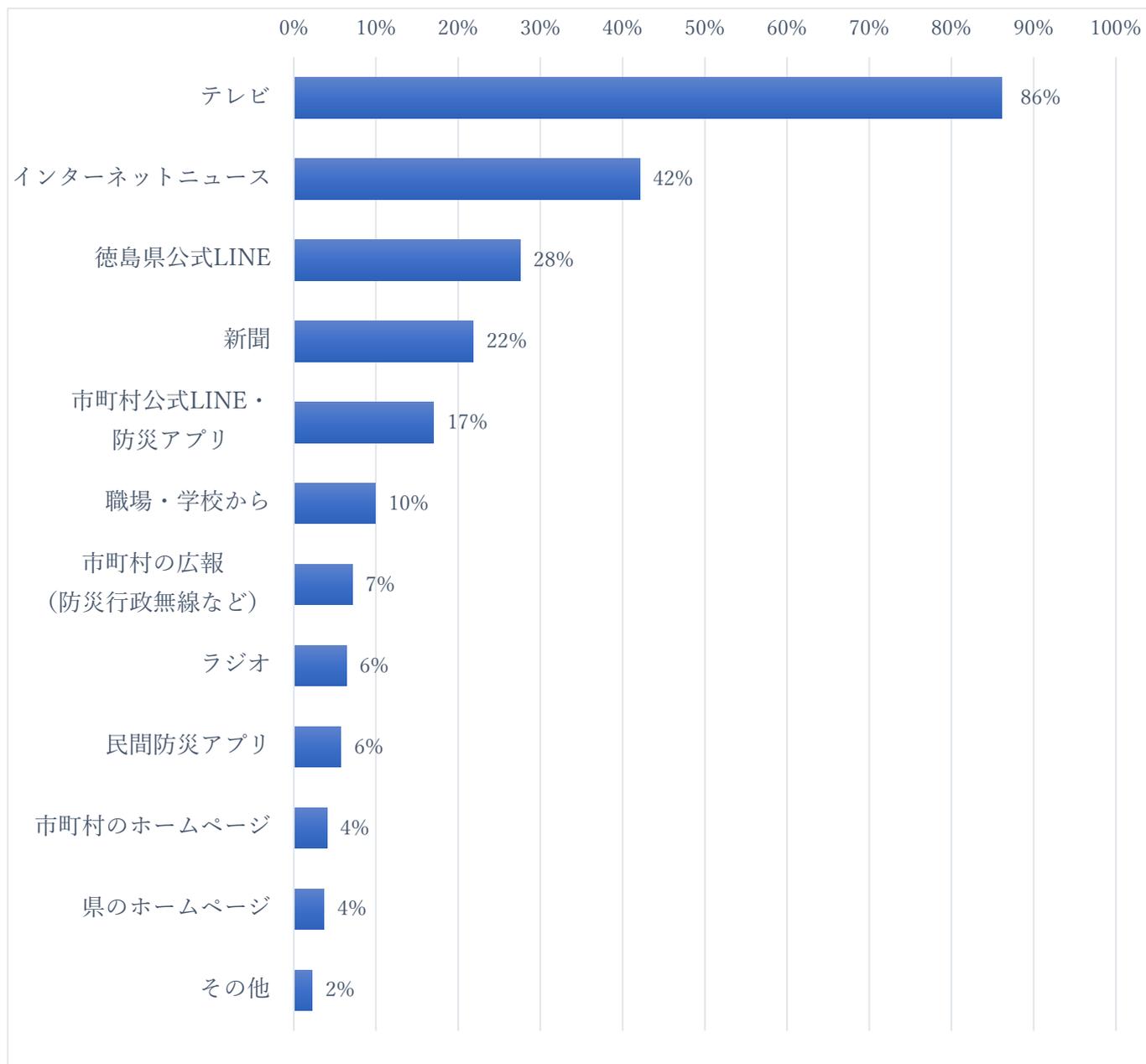


○地域別集計 (内陸部：N=1,095、沿岸部：N=1,868)



問 9 今回、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表されたことをどのようにして知りましたか。（N=2,963） ※複数回答可

「テレビ」が最も多く、次いで「インターネットニュース」、「徳島県公式LINE」と続く。



※複数回答のため、計 100%にはならない。

【「その他」の回答】

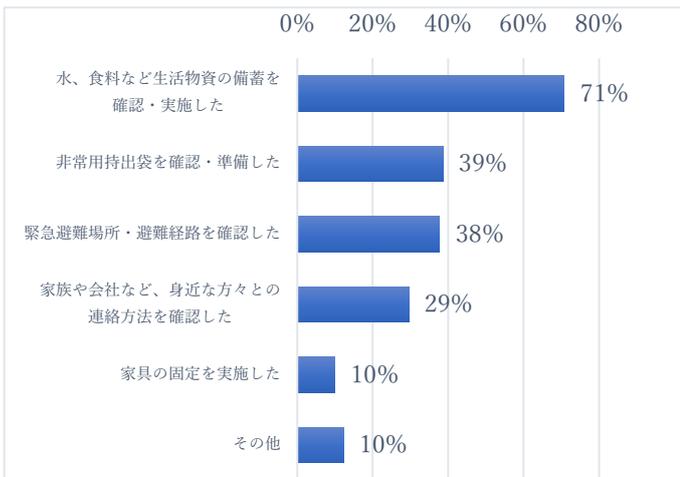
「道路表示板」、「X（旧 Twitter）」といった回答が多く見受けられた。

問 10 今回、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」の発表を受けて、どのような準備をしましたか。 ※複数回答可

「水、食料など生活物資の備蓄を確認した」が最も多く、次いで「非常用持出袋を確認・準備した」、「緊急避難場所・避難経路を確認した」が続く。

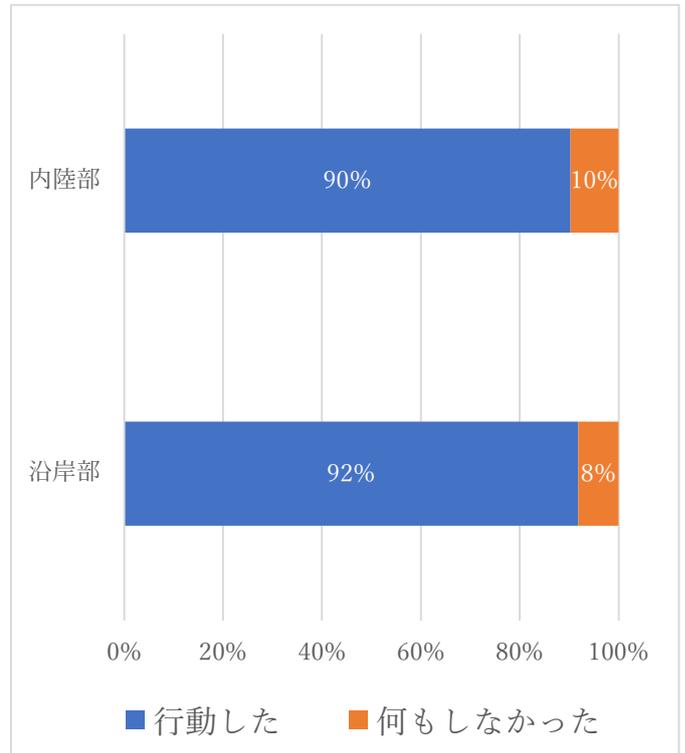
また、地域別で大きな差は見られないが、年代別では、20歳未満及び70歳以上で何もしなかった人が多く、年代が上がるにつれて、行動した人が少ない傾向が見受けられる。

○全回答集計（N=2,963）



※複数回答のため、計 100%にはならない。

○地域別集計（内陸部：N=1,095、沿岸部：N=1,868）

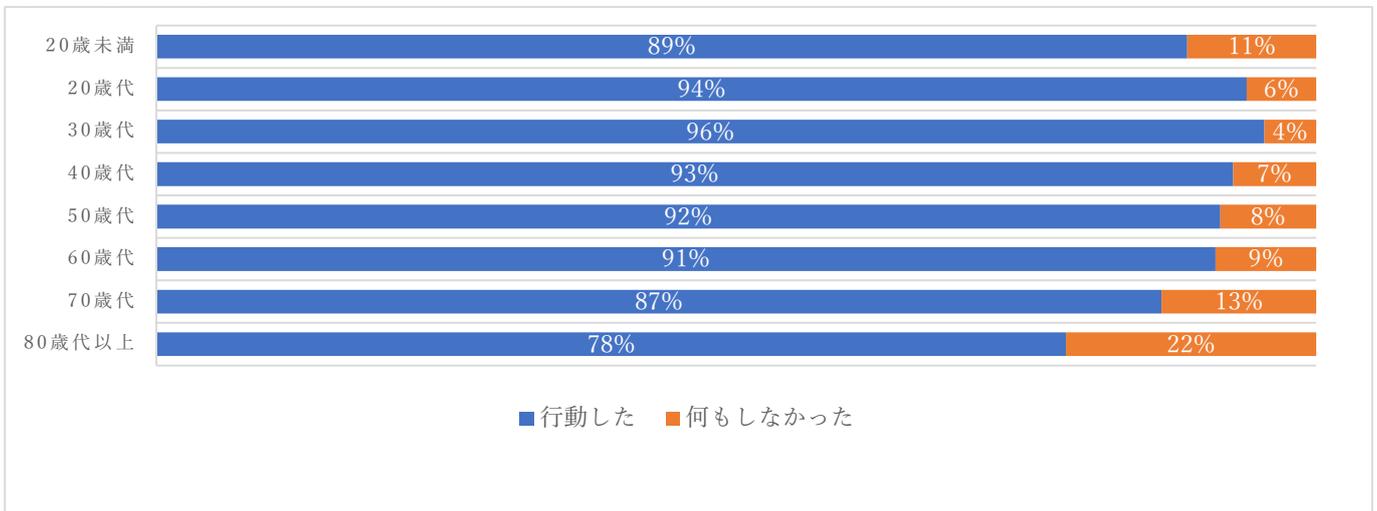


【「その他」の回答】

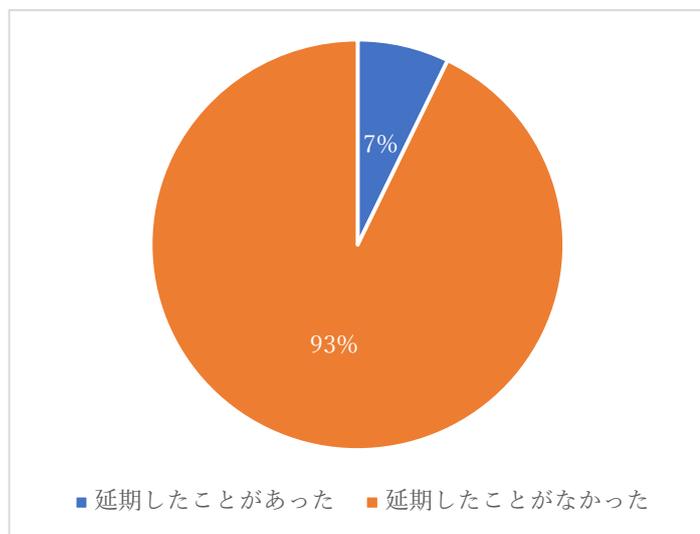
「車のガソリンを満タンにした」、「発災時の対応を再確認した」、「何もしていない」といった回答が多く見受けられた。

○年代別集計

(20歳未満：N=27、20歳代：N=234、30歳代：N=469、40歳代：N=573、50歳代：N=702、60歳代：N=415、70歳代：N=390、80歳以上：N=153)



問 11 今回、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」の発表を受けて、中止又は延期した事がありましたか。 ※自由記述（N=213）



約 1 割の方が、臨時情報を受け行動（イベント）を制限した。

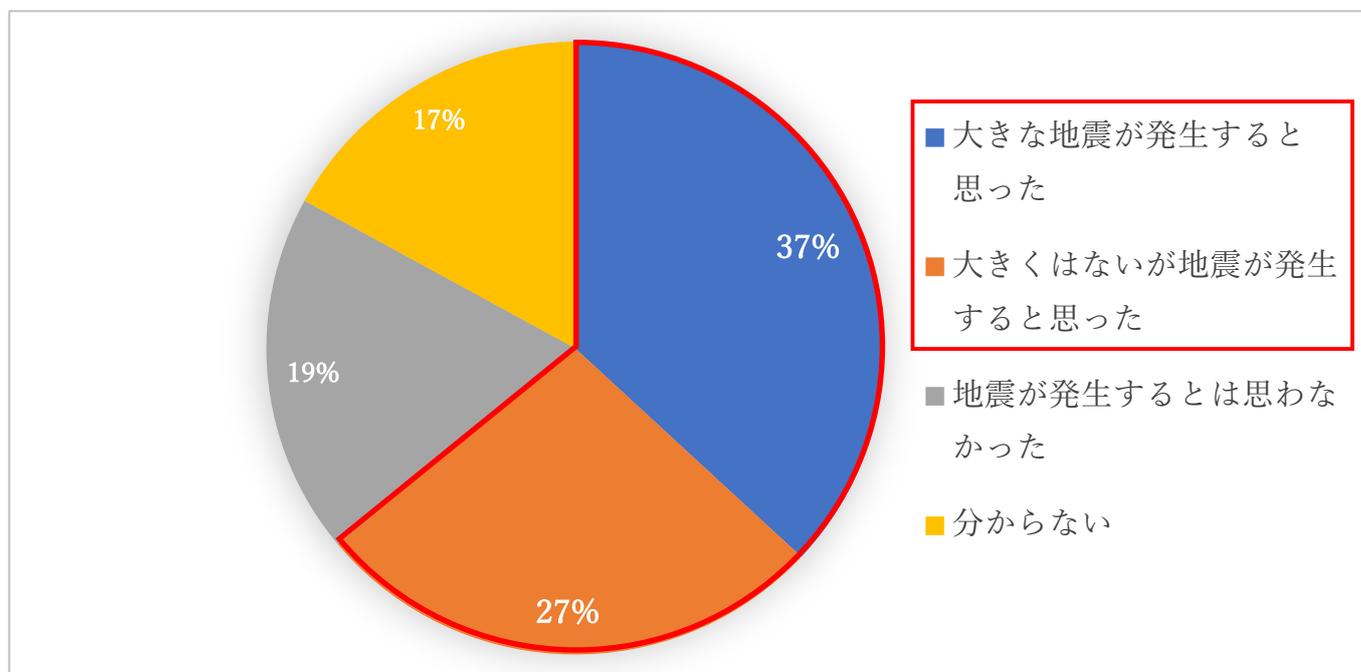
【制限したイベント】

- ・旅行：約 80 人
- ・レジャー：約 50 人
- ・帰省：約 40 人
- ・仕事：約 10 人

といった回答が多く見られた。

問 12 今回、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表されたことで、徳島県に地震が発生すると思いましたか。（N=2,963）

約 6 割の方が、地震が発生すると思った。



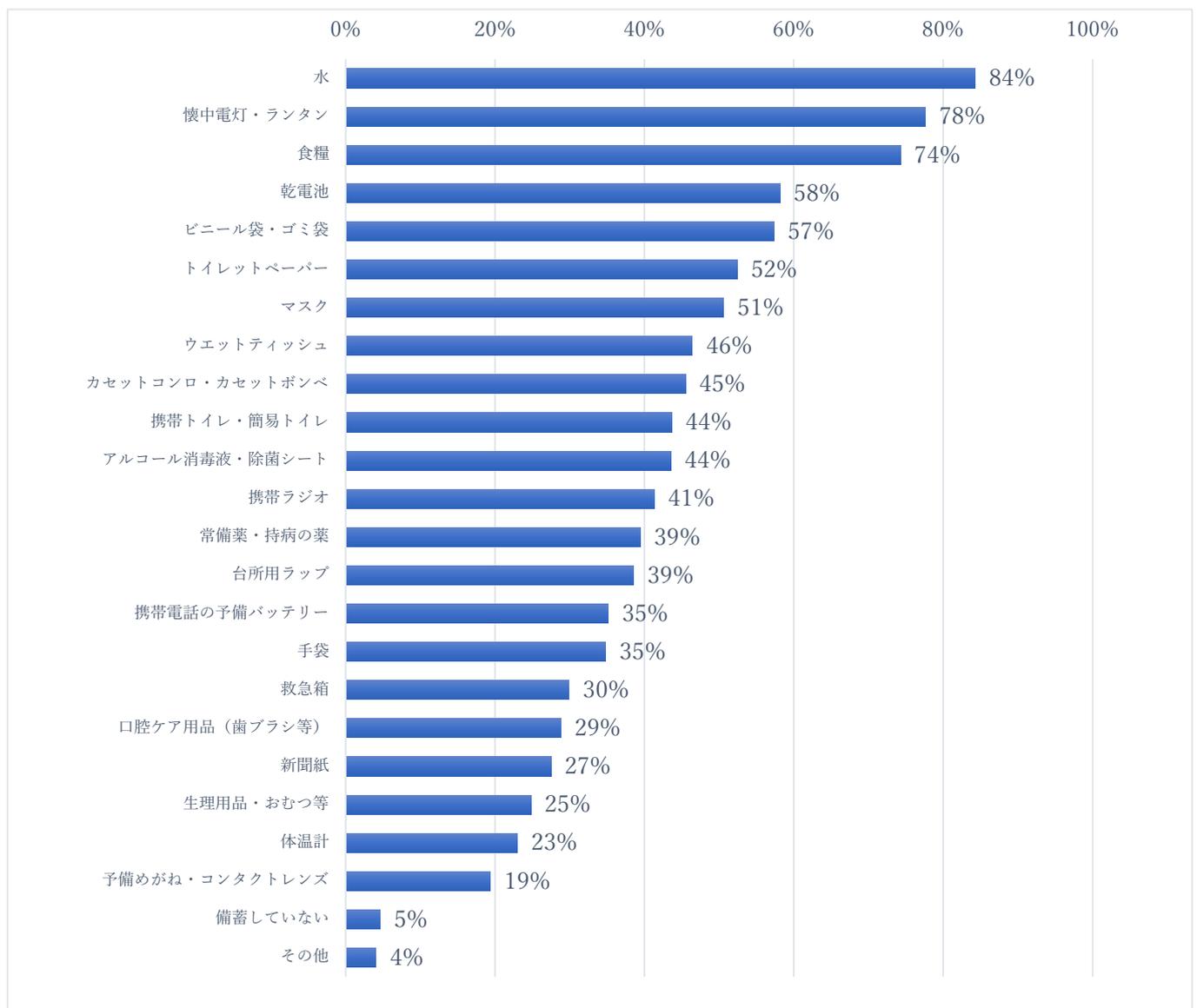
問 13 災害時の備えとして、あなたのお宅ではどんなものを備蓄していましたか。

※複数回答可

「水：84%」が最も多く、次いで「懐中電灯・ランタン：78%」、「食糧：74%」が続く。

また、地域別で大きな差は見られないが、年代別では、20歳未満及び20歳代で「備蓄していない」の割合が高い結果となった。

○全回答集計 (N=2,963)

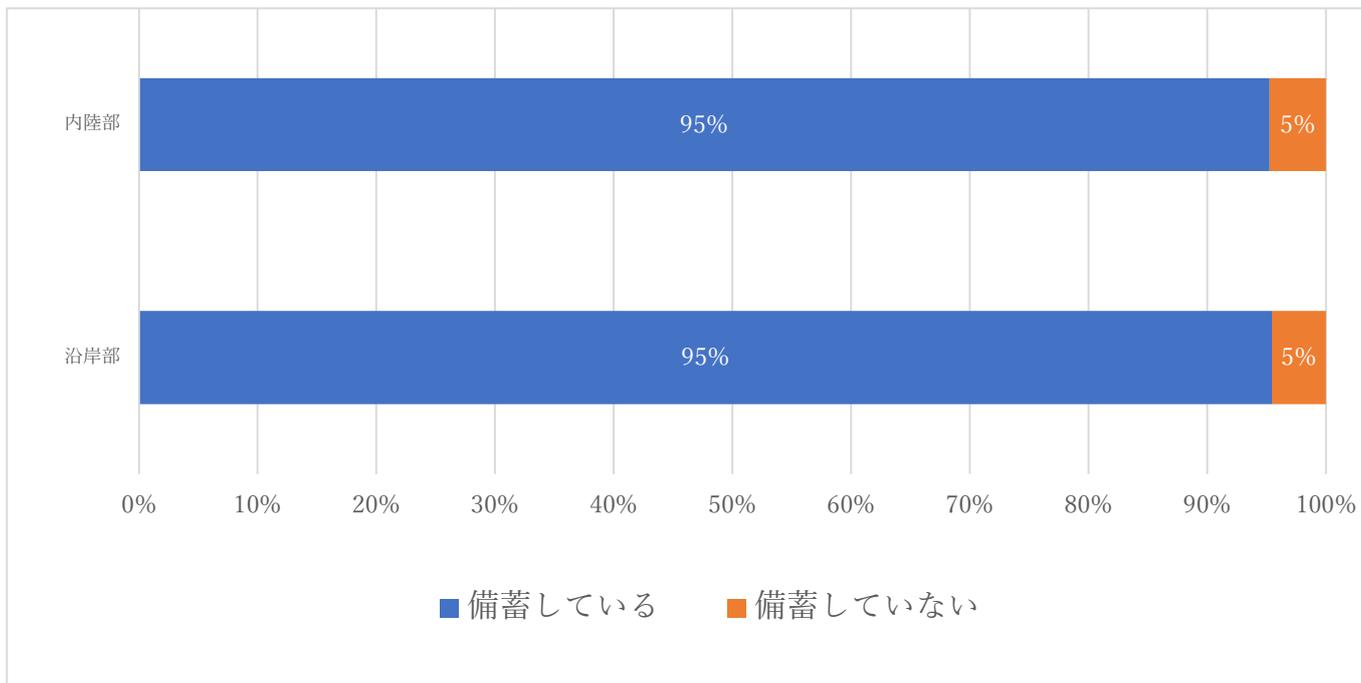


※複数回答のため、計 100%にはならない。

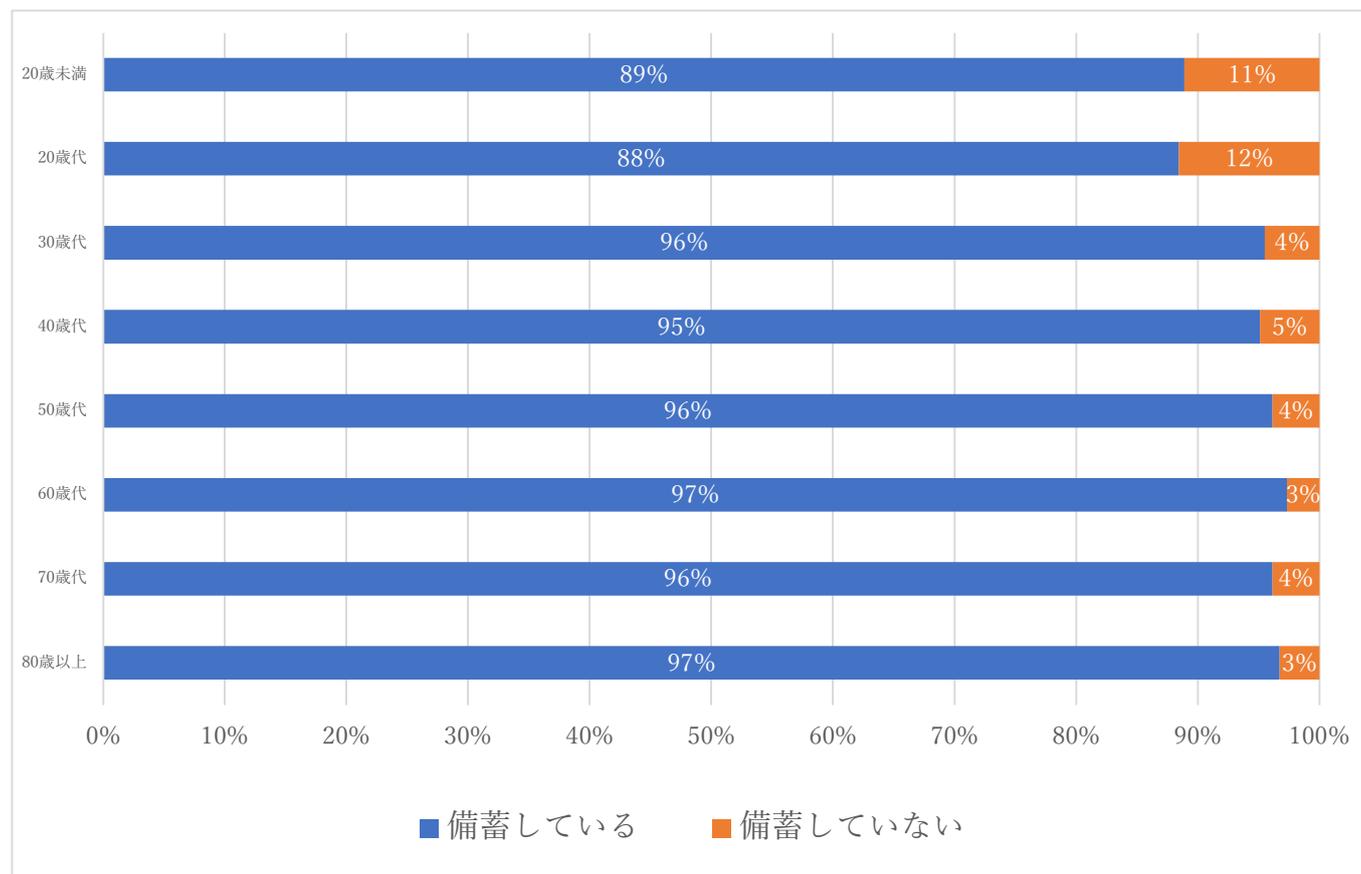
【「その他」の回答】

「ペット用品」、「ヘルメット」、「テント」、「寝袋」、「発電機」、「ガソリン」といった回答が多く見られた。

○地域別集計（内陸部：N=1,095、沿岸部：N=1,868）



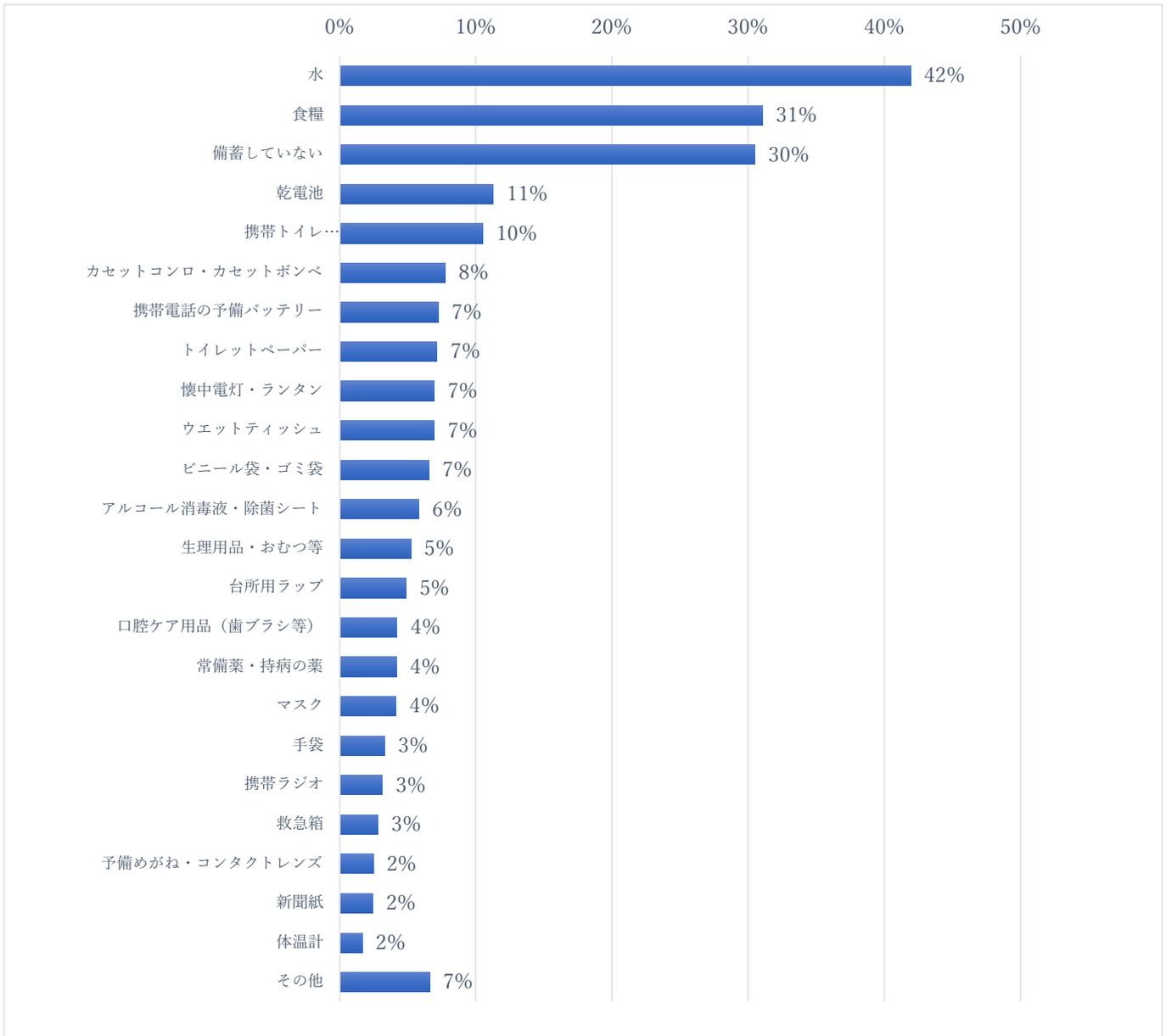
○年代別集計（20歳未満：N=27、20歳代：N=234、30歳代：N=469、40歳代：N=573、50歳代：N=702、60歳代：N=415、70歳代：N=390、80歳以上：N=153）



問 14 今回の「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」の発表を受け、どんなものを新たに備蓄（追加含む）しましたか。 ※複数回答可

「水」が最も多く、次いで「食糧」、「備蓄していない」が続く。
 また、地域別で大きな差は見られないが、年齢別では、20歳未満及び70歳以上で「備蓄していない」の割合が高い結果となっている。

○全回答集計（N=2,963）

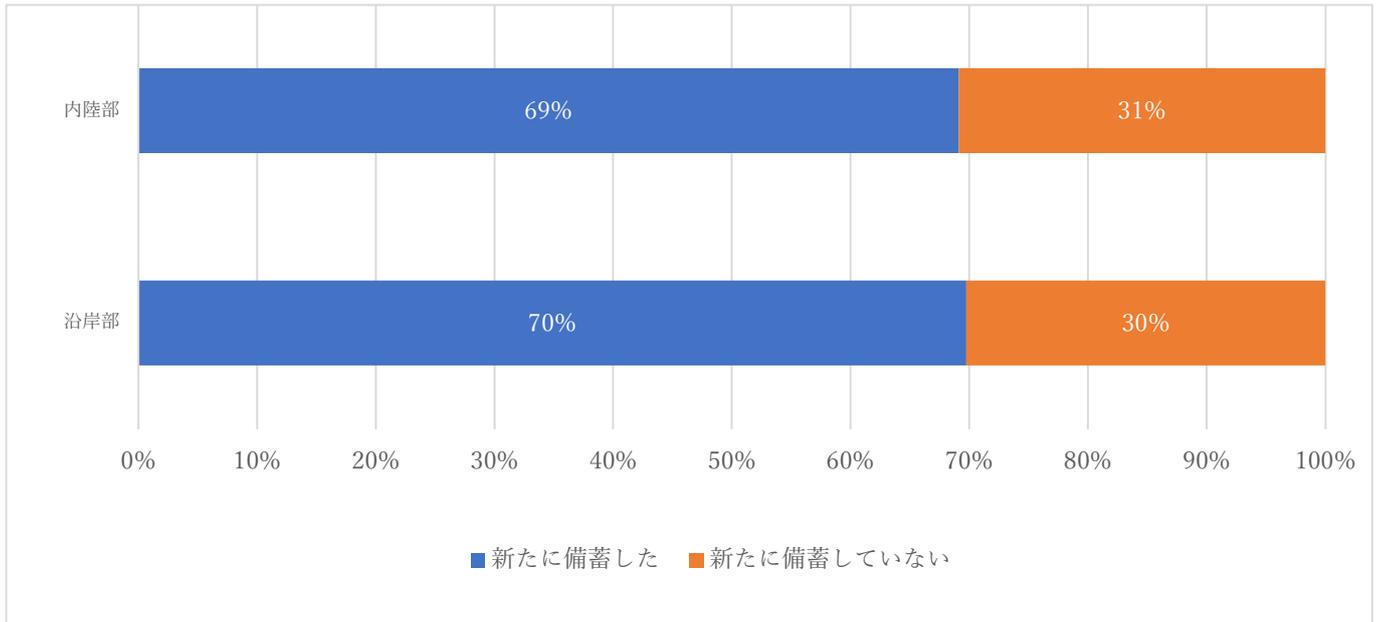


※複数回答のため、計 100%にはならない。

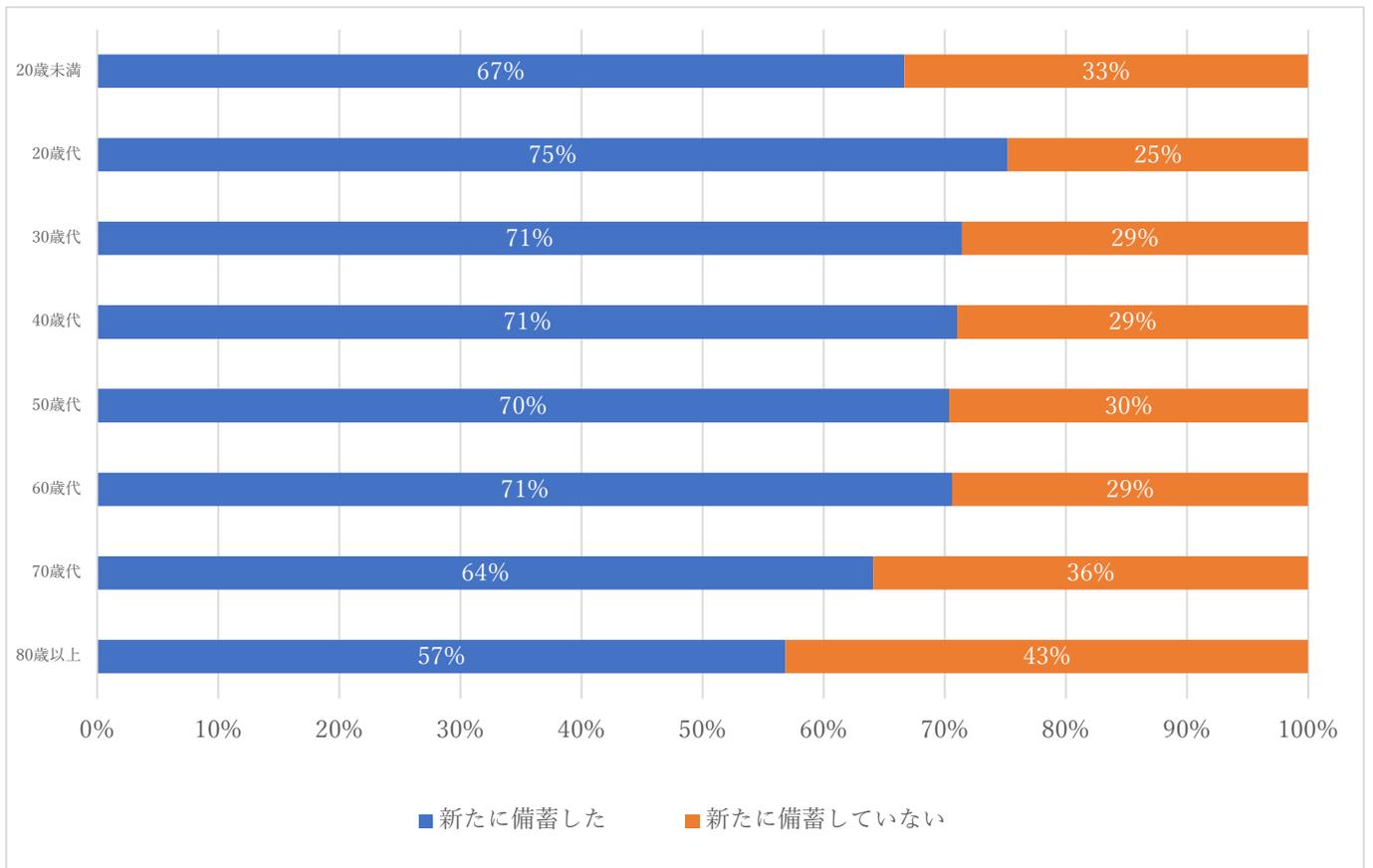
【「その他」の回答】

「ペット用品」、「ガソリン」、「ドライシャンプー」、「ポータブル電源」、「衣類・着替え」、「靴」といった回答が多く見られた。

○地域別集計（内陸部：N=1,095、沿岸部：N=1,868）



○年代別集計（20歳未満：N=27、20歳代：N=234、30歳代：N=469、40歳代：N=573、50歳代：N=702、60歳代：N=415、70歳代：N=390、80歳以上：N=153）

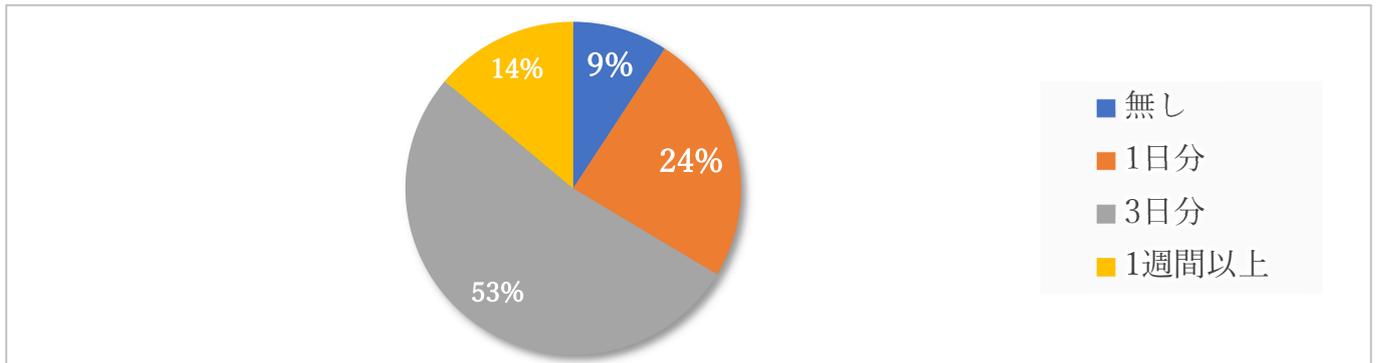


問 15 特に、以下について、どれくらいの量を備蓄していますか。

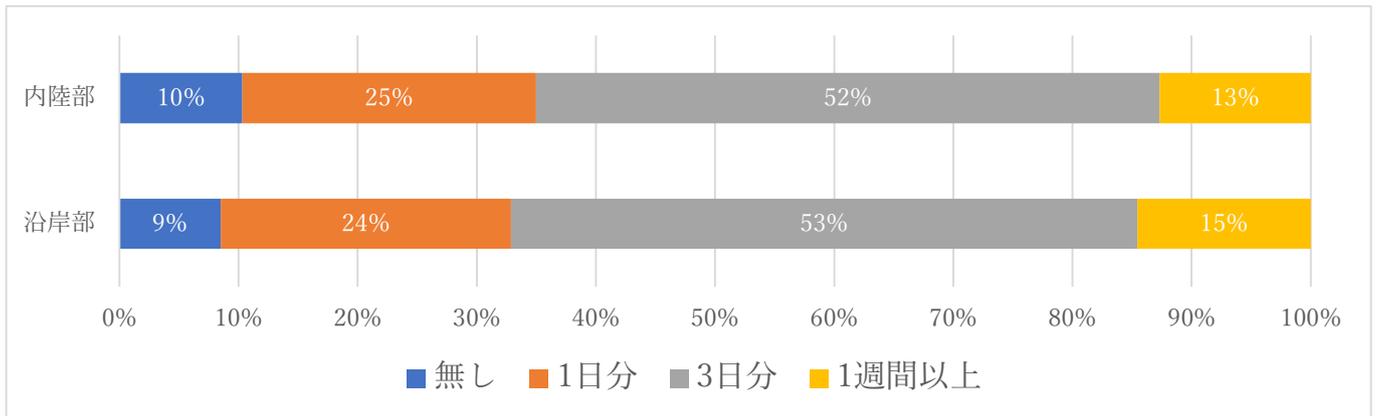
1) 水 (1人1日あたり3リットル程度)

「3日分：53%」が最も多く、次いで「1日分：24%」、「1週間以上：14%」と続く。
 また、地域別で大きな差は見られないが、年代別では、20歳代及び70歳以上において、「無し」の割合が高い結果となっている。

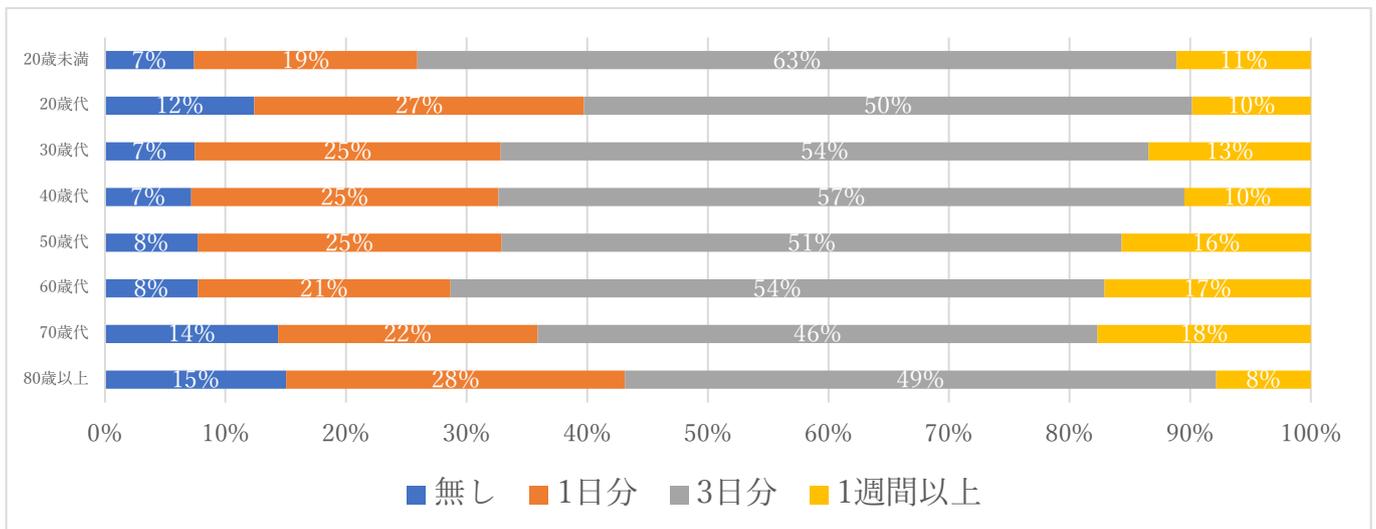
○全回答集計 (N=2,963)



○地域別集計 (内陸部：N=1,095、沿岸部：N=1,868)



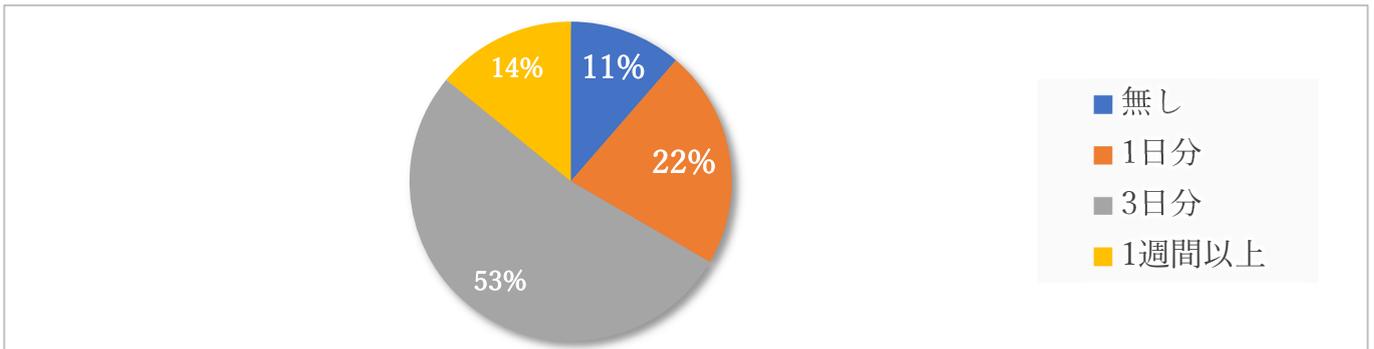
○年代別集計 (20歳未満：N=27、20歳代：N=234、30歳代：N=469、40歳代：N=573、50歳代：N=702、60歳代：N=415、70歳代：N=390、80歳以上：N=153)



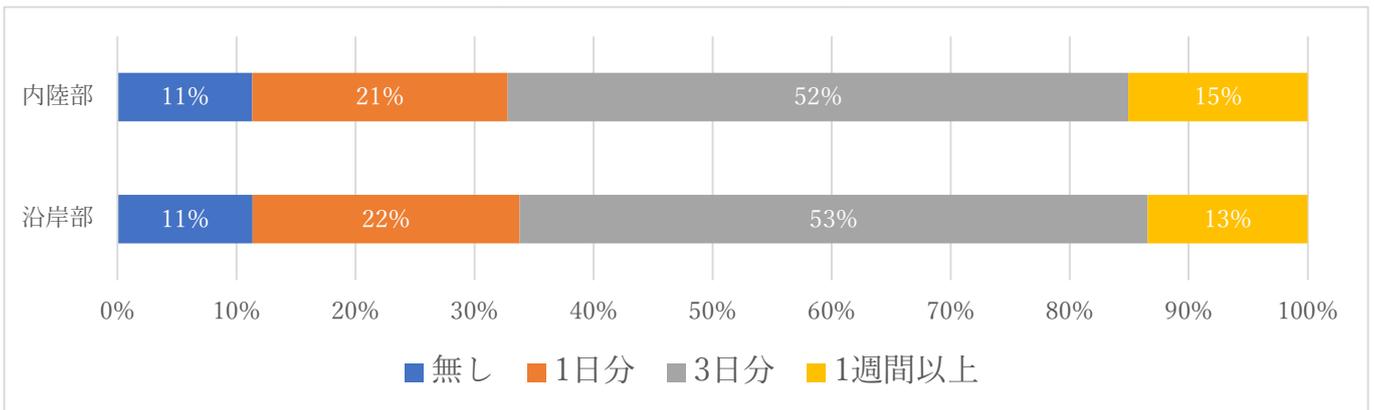
2) 食糧

「3日分：53%」が最も多く、次いで「1日分：22%」、「1週間以上：14%」と続く。
 また、地域別で大きな差は見られないが、年齢別では、20歳代及び70歳以上で「備蓄なし」の割合が高く、年代が上がるにつれて、備蓄数が少ない傾向が見受けられる。

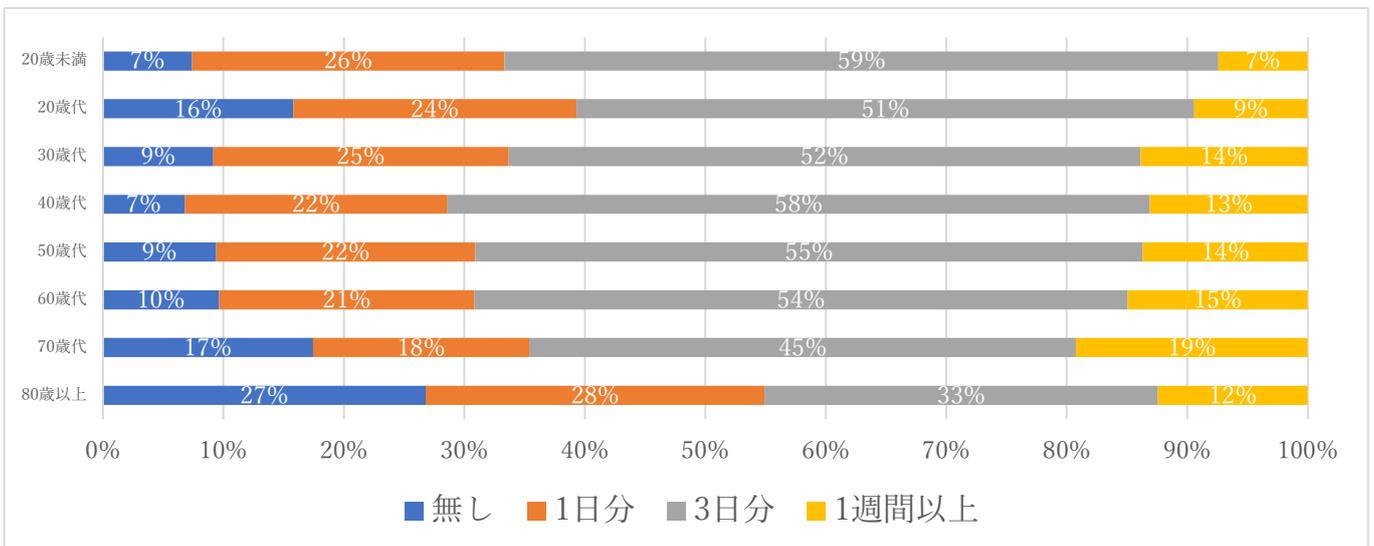
○全回答集計 (N=2,963)



○地域別集計 (内陸部：N=1,095、沿岸部：N=1,868)



○年代別集計 (20歳未満：N=27、20歳代：N=234、30歳代：N=469、40歳代：N=573、50歳代：N=702、60歳代：N=415、70歳代：N=390、80歳以上：N=153)

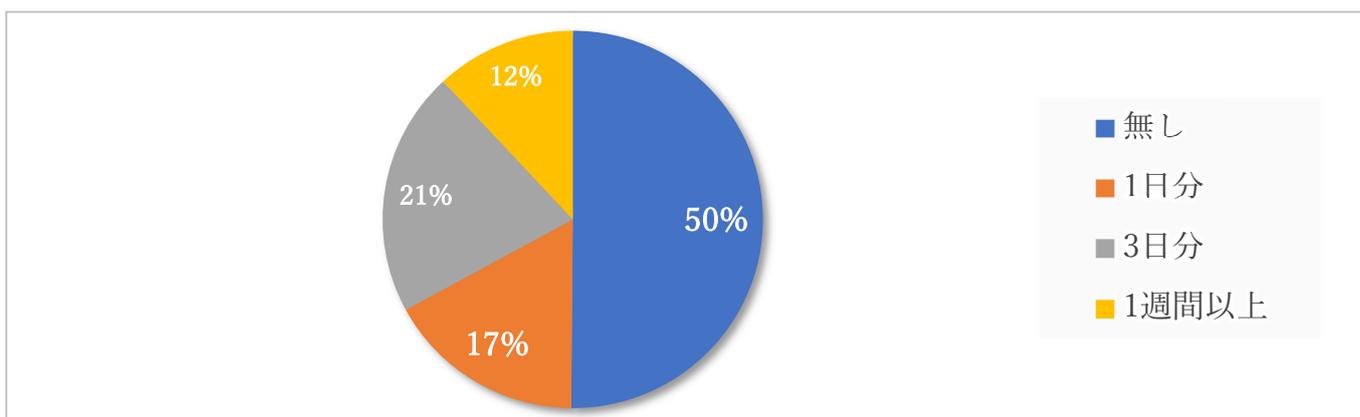


3) 携帯・簡易トイレ (1日1人あたり5個程度)

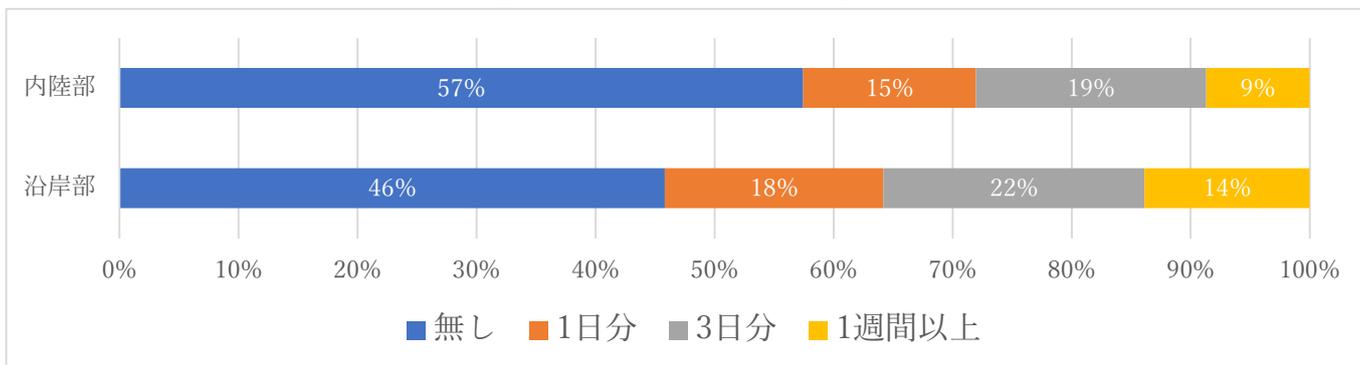
「無し：50%」が最も多く、次いで「3日分：21%」、「1日分：17%」と続く。
 また地域別では、沿岸部に比べ、内陸部において「無し」の割合が高い結果となっている。

さらに年齢別では、20歳代及び70歳以上で「備蓄なし」の割合が高く、年代が上がるにつれて、備蓄数が少ない傾向が見受けられる。

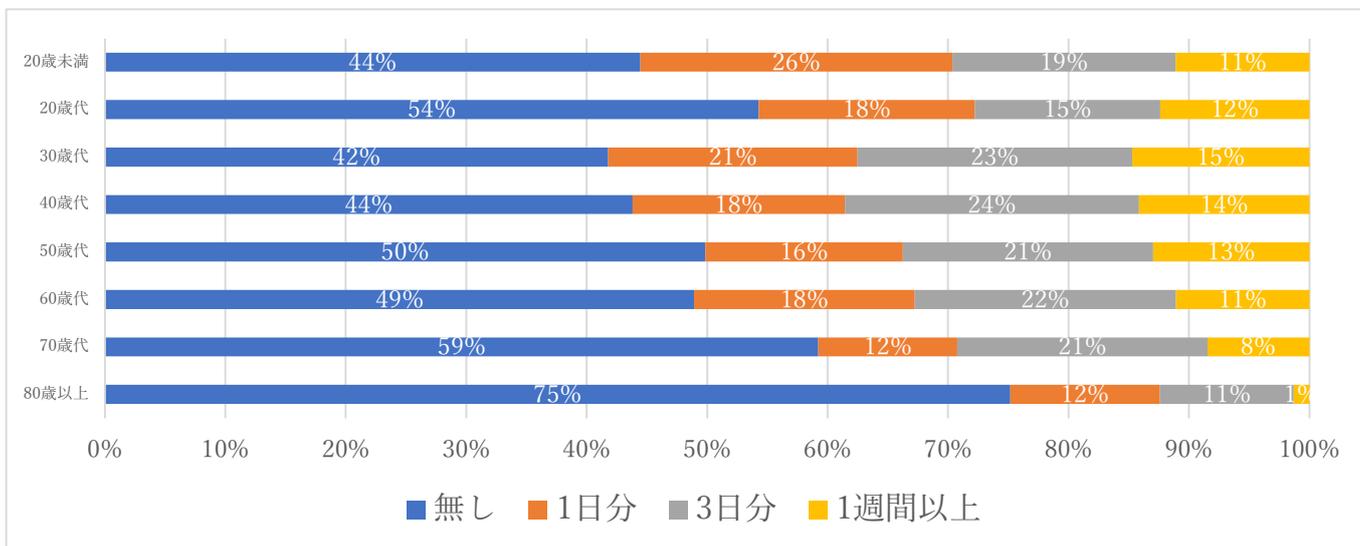
○全回答集計 (N=2,963)



○地域別集計 (内陸部：N=1,095、沿岸部：N=1,868)



○年代別集計 (20歳未満：N=27、20歳代：N=234、30歳代：N=469、40歳代：N=573、50歳代：N=702、60歳代：N=415、70歳代：N=390、80歳以上：N=153)

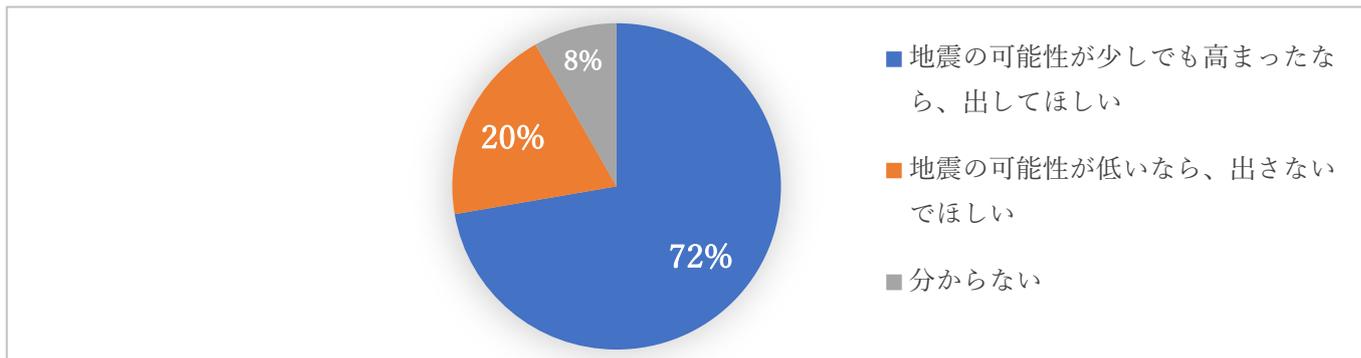


問 16 南海トラフ巨大地震の発生可能性が通常より高まったことを知らせる、南海トラフ地震臨時情報についてどう思いますか。

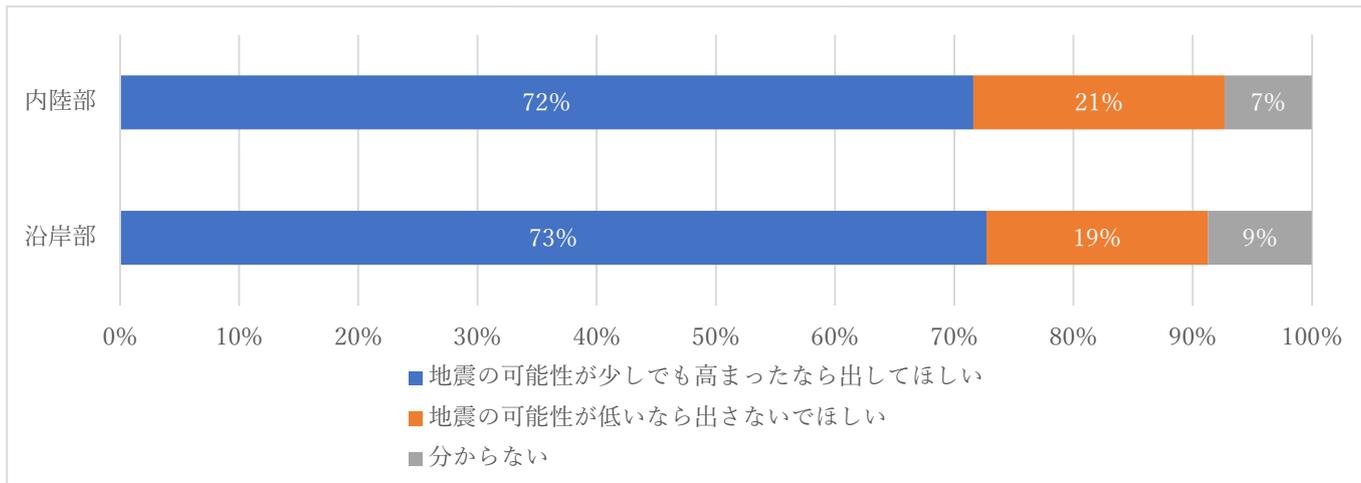
「地震の可能性が少しでも高まったなら出してほしい」との割合が72%を占める結果となっている。

また、地域別及び年代別で回答割合に大きな差は見られない。

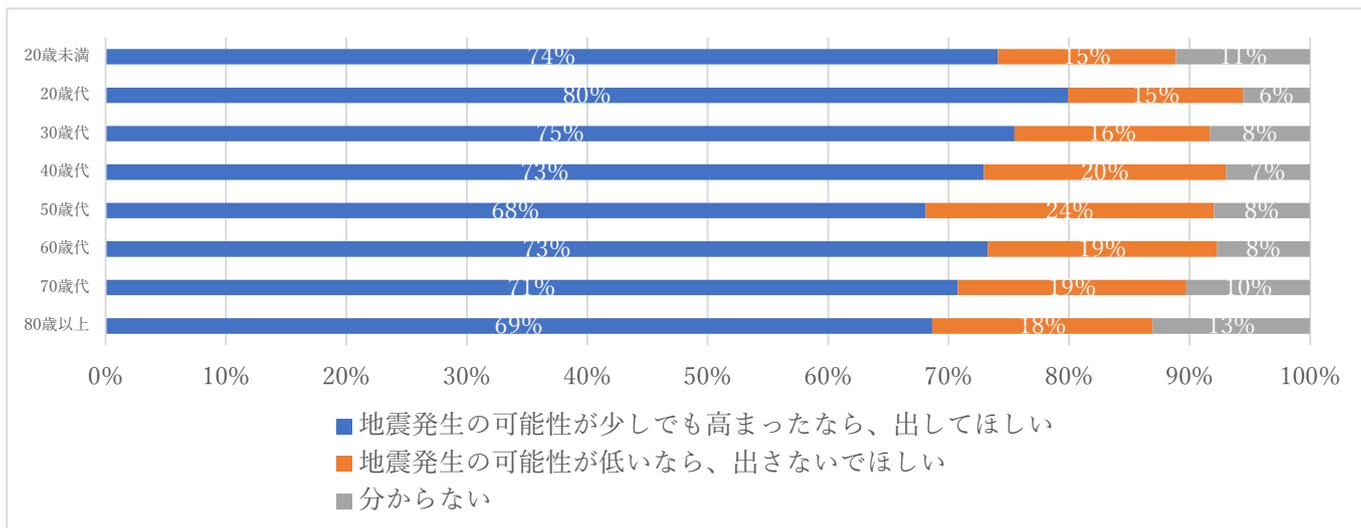
○全回答集計 (N=2,963)



○地域別集計 (内陸部 : N=1,095、沿岸部 : N=1,868)

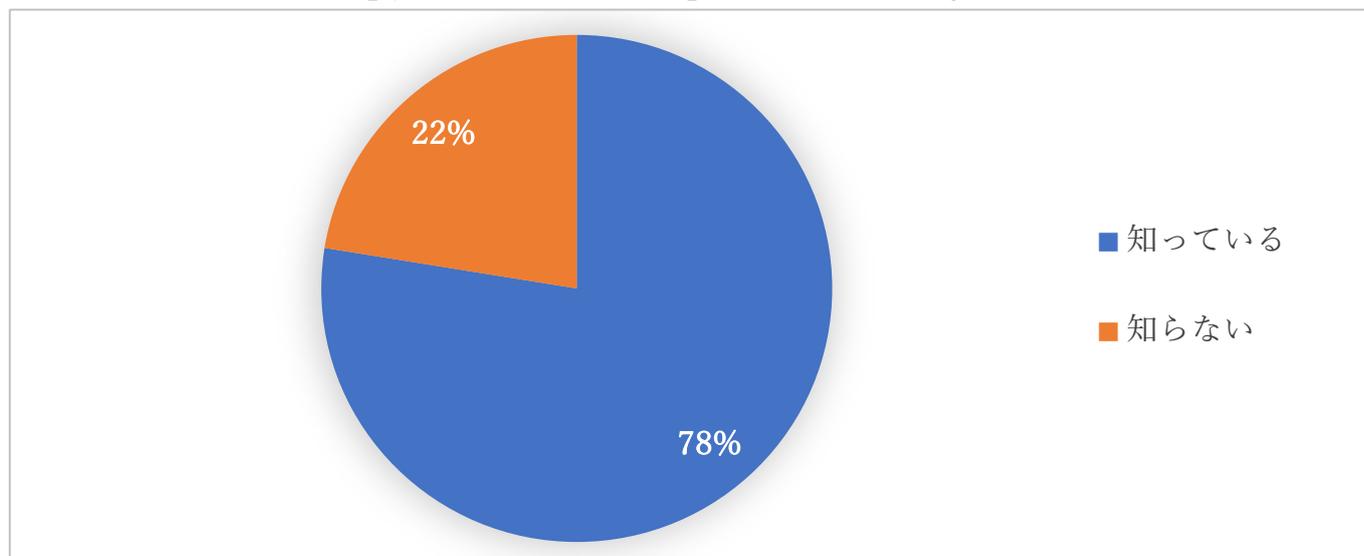


○年代別集計 (20歳未満 : N=27、20歳代 : N=234、30歳代 : N=469、40歳代 : N=573、50歳代 : N=702、60歳代 : N=415、70歳代 : N=390、80歳以上 : N=153)

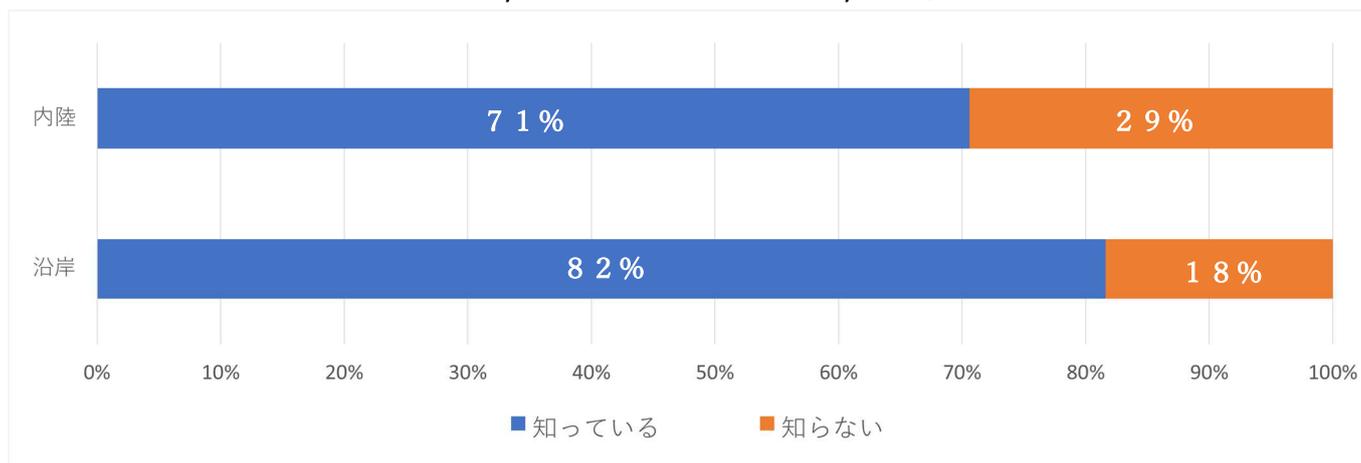


問 17 あなたは、「徳島県公式 LINE」を知っていますか。(N=2,963)

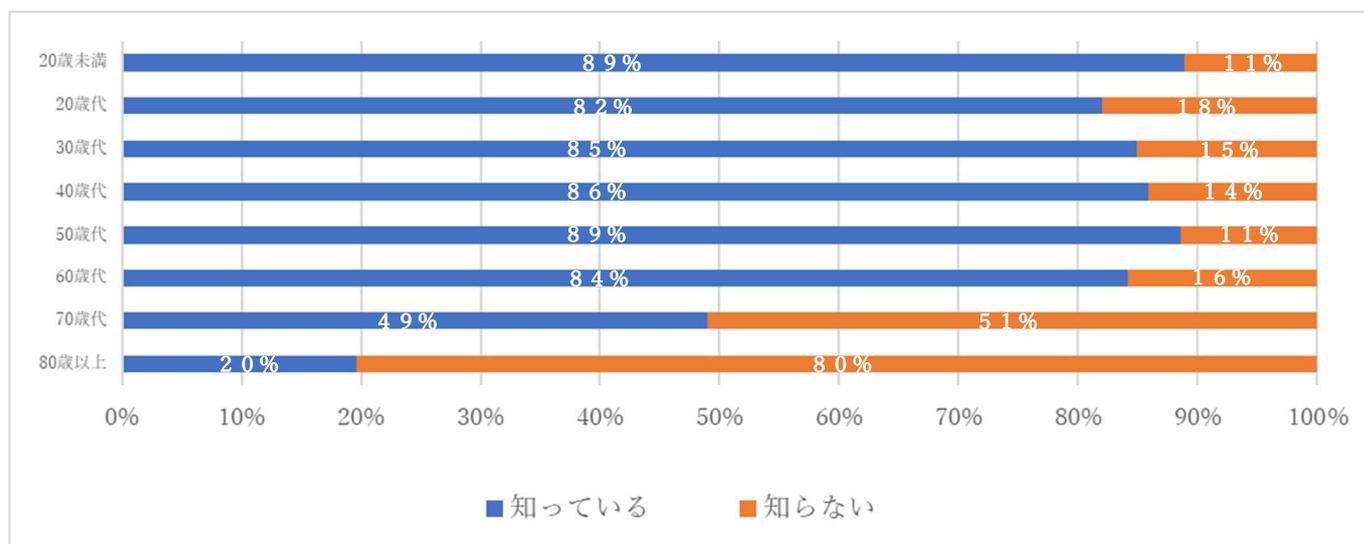
「知っている：78%」、「知らない：22%」となっている。



○地域別集計 (内陸部：N=1,095、沿岸部：N=1,868)

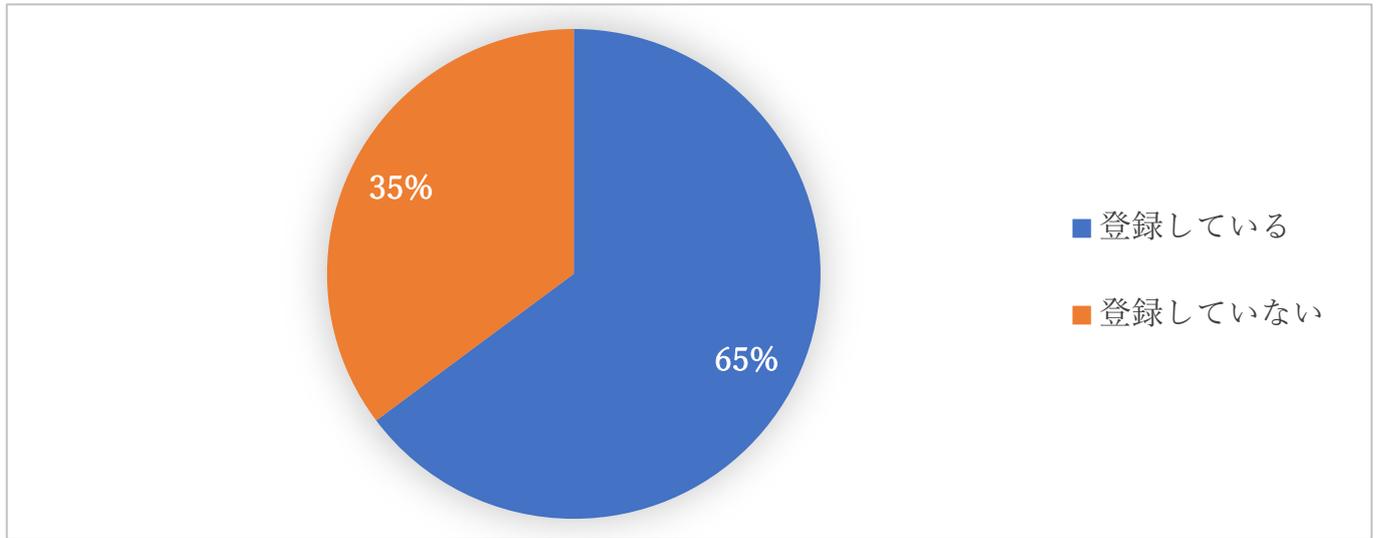


○年代別集計 (20歳未満：N=27、20歳代：N=234、30歳代：N=469、40歳代：N=573、50歳代：N=702、60歳代：N=415、70歳代：N=390、80歳以上：N=153)

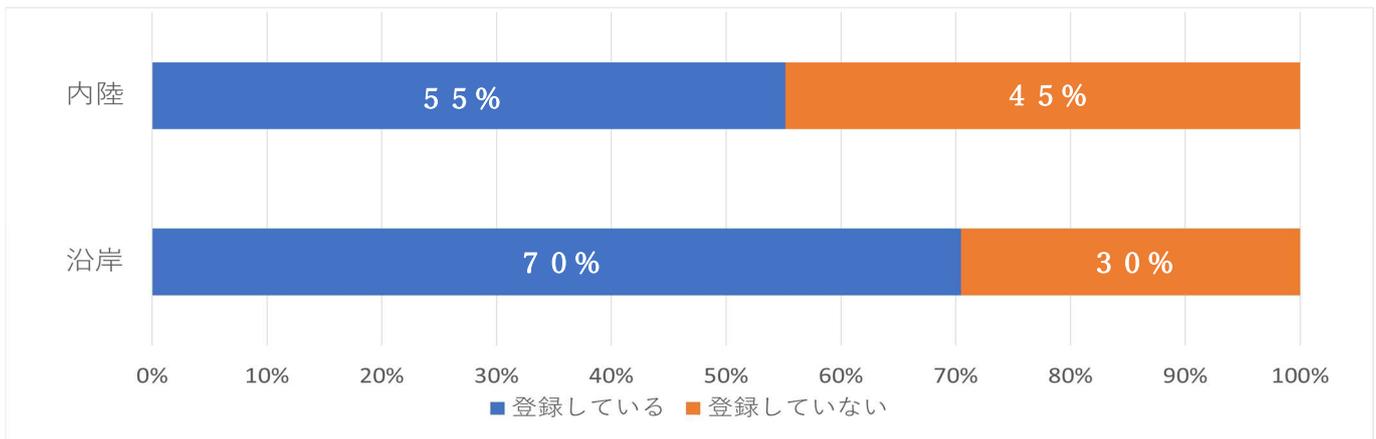


問 18 あなたは「徳島県公式 LINE」を登録していますか。(N=2,963)

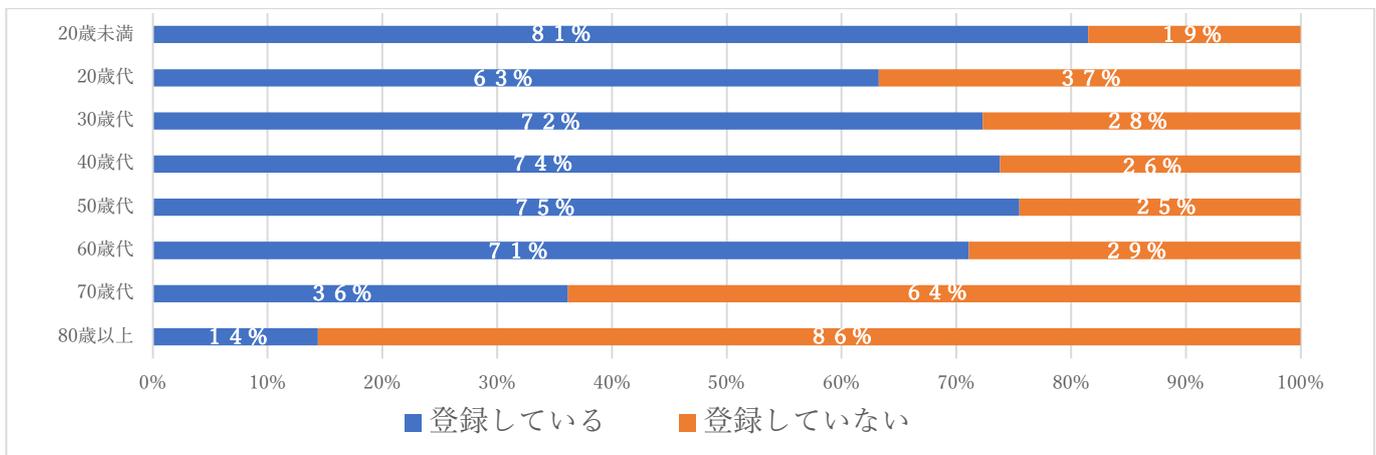
「登録している：65%」、「登録していない：35%」となっている。
 また、「知っているが、登録していない：13% (387人)」となっている。



○地域別集計 (内陸部：N=1,095、沿岸部：N=1,868)



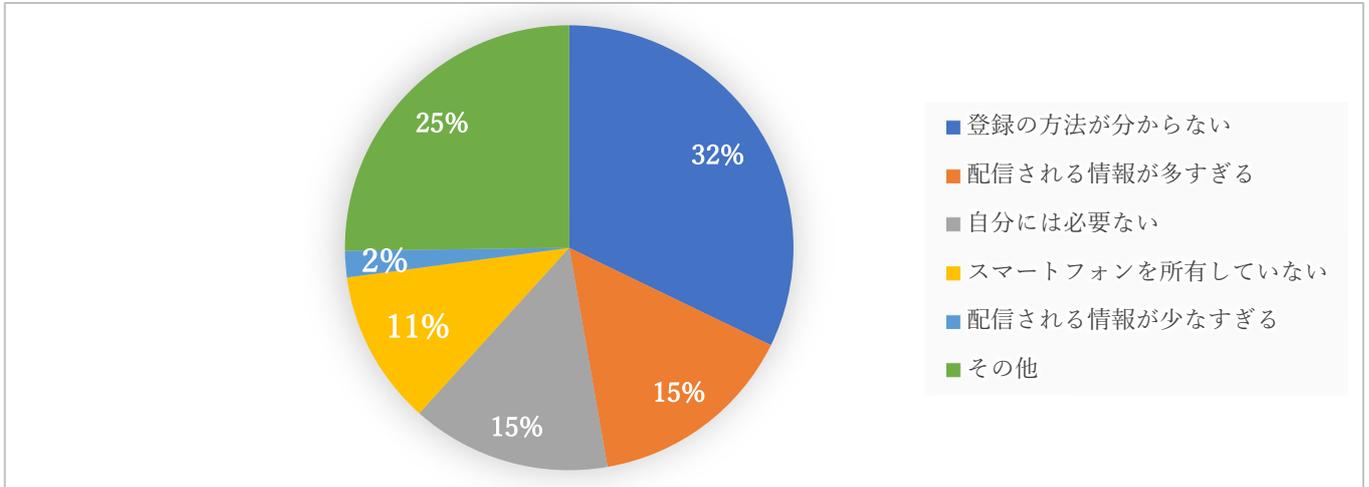
○年代別集計 (20歳未満：N=27、20歳代：N=234、30歳代：N=469、40歳代：N=573、50歳代：N=702、60歳代：N=415、70歳代：N=390、80歳以上：N=153)



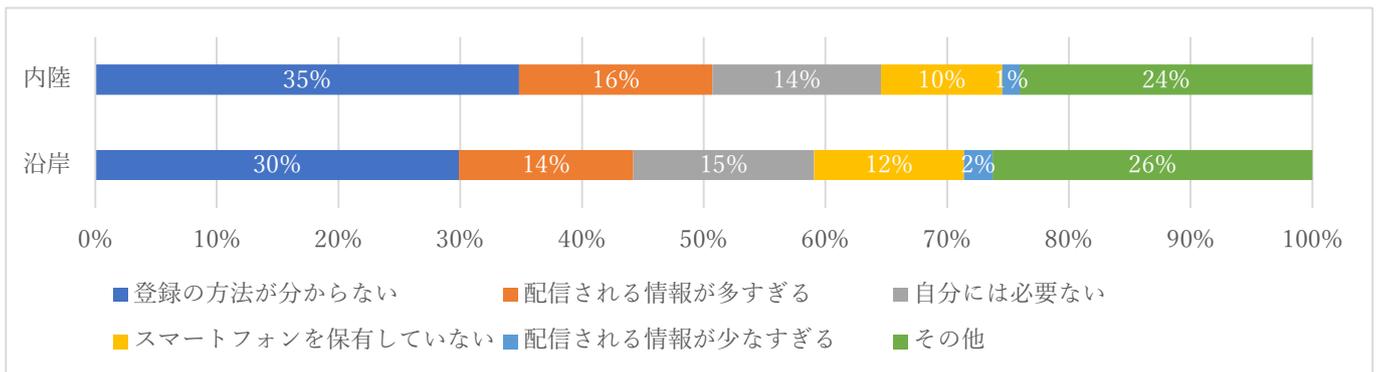
| | 知っている | 知らない | 計 |
|---------|-------------|-----------|--------------|
| 登録している | 65% (1,911) | 0% (9) | 65% (1,920) |
| 登録していない | 13% (387) | 22% (656) | 35% (1,043) |
| 計 | 78% (2,298) | 22% (665) | 100% (2,963) |

問 19 問 18 で「登録していない」と回答した方にお聞きます
登録していない理由は何ですか。(N=1,043)

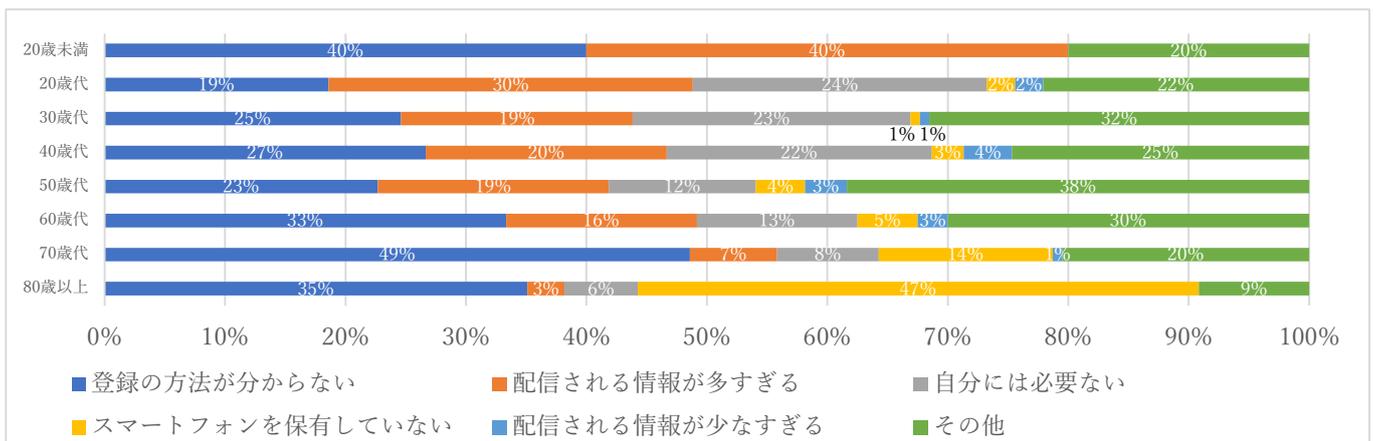
「登録の方法が分からない：32%」が最も多く、次いで「その他：25%」、「配信される情報が多すぎる：15%」と続く。



○地域別集計 (内陸部：N=1,095、沿岸部：N=1,868)



○年代別集計 (20歳未満：N=27、20歳代：N=234、30歳代：N=469、40歳代：N=573、50歳代：N=702、60歳代：N=415、70歳代：N=390、80歳以上：N=153)



【「その他」の回答】

「市町村の公式LINEに登録しているから」、「知らなかった」、「LINEを使っていない」といった回答が多く見られた。

問 20 その他、自由にご意見をお書きください。〈抜粋〉 ※自由記述 (N=351)

■臨時情報

- ・必ず発生する南海トラフ巨大地震を落ち着いて受けとめ、もしもの時に冷静に行動するためには「正しい知識を持つこと」が一番大事。啓発活動や防災訓練を密に行ってほしい。
- ・発災時、行政の支援を待つのではなく、自助共助ができるよう、日頃から防災意識を高めておきたい。
- ・自助・共助・公助を生活の一部として普段から取り入れておきたい。また、地域防災も含め県や市町村でもライフハックや防災情報、防災イベントを発信参加呼びかけ等をして頂きたい。
- ・注意報の存在を知らなかったので混乱した。どの程度の可能性か、確率なのか、社会生活への影響が大きかったと思う。1週間程度地震発生に注意！とか不安を煽りすぎない名称とすべき。
- ・もう少しわかりやすい臨時情報であってほしい。

■避難・備蓄

- ・地震が発生するかどうかは判らないが、いつ起きてもおかしくないという心の準備ができた。また、備蓄を見直すきっかけとなった。
- ・情報として知っていたが、実際の発表で起きたこと(パニック買い)を体験して我が家の防災を改めて見直す良い機会となった。『これは空振りではない、素振りだ。』
- ・避難場所等はHPを見てわかるが実際、避難する時に施錠がされている場合どのように開錠するかなど具体的な避難システムを県や市のホームページに書いていただけると有難いです。
- ・十分備蓄しているつもりだったが、水や簡易トイレの1人あたりの量をこのアンケートで知り、もう少し必要な気がした。ここを見れば必要な量や目安が一覧でわかるサイトがあれば良いと思う。
- ・避難場所が少なすぎます。県民の命を守るために避難場所、避難用具等の備蓄を県で進めてほしい

■情報発信

- ・立場や状況によって、捉え方は異なるが、最悪の事態を想定して、情報を発信していただければ幸い。何もなければ、それで大丈夫なので。
- ・何時震災が発生するか分からないので、予報や注意報の情報は適宜出して欲しい。空振りになったら、ラッキーと思うようにしている。
- ・情報として警報が出ていることは非常によかったと感じている。しかし、その情報の発信される回数が多すぎたことは問題に感じている。その回数の多さに辟易とすることもあったし、そのことについての興味が薄れるということもあったので、回数はもう少し減らしてもよいのではないかと感じた。